行政ドックの誕生と展開

北村喜宣（上智大学）

【配布資料】

1. 地方自治研究機構『自治体における行政手続の適法・適正な運用に係る自己診断に関する調査研究』（2021年3月）
2. 北村喜宣「行政ドックの発想と自治体政策法務における意義」自治実務セミナー2018年10月号
3. 北村喜宣「超ジコチュー：審査基準に関する無記名アンケート結果」自治実務セミナー2021年10月号
4. 予防法務としての行政ドックと行政手続法制

（１）自治体行政と行政ドック

（ａ）行政ドックとは何か

（ｂ）「法律による行政」と「慣性による行政」

（ｃ）一歩離れて自らを見直す

（２）自治体政策法務における行政ドックの位置付け

　（ａ）評価法務としての行政ドック

　（ｂ）行政ドックの四つのプロセス

　（ｃ）事務局

（３）モノサシとしての行政手続法制

　（ａ）選択の理由

　（ｂ）自治体行政における行政手続法制の意義

　（ｃ）「申請に対する処分」を例にして

　（ｄ）権限行使のお作法としての自治体の認知度

　（ｅ）行政敗訴事例

　（ｆ）カウンターの向こう側にいる市民・事業者を思いやる想像力

 ・審査基準を公にしたくない理由

（４）個人と組織と

（５）先駆的対応をした静岡市（2010～2014年度）

　（ａ）静岡市政策法務推進計画

　（ｂ）「行政リーガルドック」

　（ｃ）現在の状況

（６）地方分権時代における行政ドックの意義

　（ａ）「国の事務」からの解放

　（ｂ）自治的解釈の確認

　（ｃ）自治体政策に基づく「自分の事務」の地域適合化

1. 流山市の取組（2016年度以降）

（１）この方と市幹部の理解なかりせば

（２）身の丈にあったカスタマイズ

（３）感じられる効果とさらなる工夫

1. 那須塩原市の取組（2018年度以降）

（１）この方と市幹部の理解なかりせば

（２）身の丈にあったカスタマイズ

（３）感じられる効果とさらなる工夫

1. 豊田市の取組（2019年度以降）

（１）この方々と庁内における法務課への信頼なかりせば

（２）身の丈にあったカスタマイズ

（３）感じられる効果とさらなる工夫

1. 行政ドックの成果と課題

（１）行政ドックの実践

（２）実施されている行政ドックの特徴と評価

　（ａ）導入の経緯

　（ｂ）市の施策における位置付け

　（ｃ）実施体制

　（ｄ）実施状況と審査を通じた発見

　（ｅ）組織意識・職員意識の変化

　（ｆ）チェックシートの重要性

　（ｇ）研修としての行政ドック

　（ｈ）課題の水平展開

６．その他雑感

（１）蔓延する不戦勝状態

（２）職員採用試験における行政法科目

（３）入庁後研修における行政法科目とその内容

（４）自治大学校における「行政法」「政策法務」の効果

（５）手続敗訴自治体におけるとその後の対応の実情

（６）行政組織の事務執行能力と自治

（７）展開のきざし